

彦根市社会福祉協議会 ひこね

【第182号】

平成27年2月1日発行

編集と発行

社会福祉法人
彦根市社会福祉協議会

〒522-0041 彦根市平田町670

TEL 22-2821 FAX 22-2841

ホームページアドレス

<http://www.hikone-shakyo.or.jp>



この広報紙の一部は、赤い羽根共同募金の
配分金やみなさまからの会費で作成してい
ます。



▲「善意銀行ボックス

(略称：善銀ボックス)」

市内のあちこちに設置して
もらえるよう頑張ります！

市内へ



▲お店に設置された「善銀ボックス」(「カフェグレコ」にて)

思いやりの架け橋「善銀ボックス」!!

誰もが自分の幸せを願うとともに、「社会のために少しでも役
立つことをしたい」という温かい気持ちを持っています。
多くの方々が物品や金銭の寄附という形でこうした気持ちを表し
てくださいます。

彦根善意銀行は、皆さんの善意を物品や金銭としてお預かりし、
福祉の様々な活動へつなぐ架け橋となっています。

お預かりした金品は、本会が行う貸し出し用車椅子の修繕や防
災等啓発活動の他、種々の事情で生活にお困りな方への支援のた
めの物資購入等に活かされています。

今回作成した善銀ボックスの一つは「カフェグレコ」さんに設
置についてご協力いただけることとなりました。順次彦根市内の
協力店に設置していく予定です。街角でこのボックスを見かけら
れましたら、どうぞご協力をお願いいたします。

*市民の皆さまからお寄せいただいた「赤い羽根共同募金」を基とした
「小地域福祉活動助成」を活用しています。

★トピックス★

①「平成26年度
彦根市社会福祉大会」報告

(詳細：2～3ページ)

②「ふくしフェア」報告
小児難病救済基金のお知らせ

(詳細：4ページ)

③創ろう!みんなの
「地域福祉活動計画」―第5回―

(詳細：5ページ)

第3部：パネルディスカッション「彦根の子どもたちへ」



↑3名の登壇者(写真上)と篠原先生

第3部では「彦根の子どもたちへ」と題して、滋賀県立大学の篠原先生をファシリテーターにお迎えし、市内で子どもたちの学習支援の活動をしているNPO法人Links(リンクス)の柴田雅美さん、「まなびば基地」世話人の富永美砂穂さん、そして第2部で講演いただいた日野さんによるパネルディスカッションを通して、来場者の皆さんと共に彦根における子どもの貧困の解消に向けて、特に学習面の支援のあり方について考えました。そのために、まずはファシリテーターである篠原先生より「子どもの貧困」についての全国的な状況と、全国と比べて彦根市がどういう状況にあるのかをお話いただきました。

2014年の調査結果によると、およそ6人に1人の子ども(18歳未満)が経済的に貧困状態にあるということで、日本における「子どもの貧困」の現状は思いのほか深刻であることが分かりました。

一方、彦根市の現状はどうかというと、実は彦根市の調査結果を見るとほぼ同じで、中学生の子がいる家庭の生活保護受給率と、学用品等の支払いが困難な場合に補助が受けられる「就学援助」を受けている子の割合を足すと、市内でもおよそ6人に1人が貧困状態にあることになり、もはや他人事とは言えません。

市内の子ども6人に1人が貧困状態

この事実は、来場者の皆さんにとっても大きな衝撃を与え、会場からは驚きとざわめきの声が聞かれました。

こういった現状にある中、その解消に向けて市内で活動されているのが、先で述べた柴田さんと富永さんです。

柴田さんは、知人の方からの「5教科合わせて100点を取れない子がいるのだから何とかしてあげられないかな」という相談をきっかけに、学習面の課題を抱える子どもの存在を知り、平成25年の2月より学習支援の場である「LL教室」を始められました。

富永さんは平成22年より、東中学校で行われている放課後学習支援に関わられていますが、会場が学校であるがゆえの限界を感じられたことから、貧困であるなしに関わらず学習したい子なら誰でも参加できる場所として、平成25年の秋頃から仲間の方々と「まなびば基地」をスタートされました。

お2人からは「支援する大人は子どもたちの自然な成長を待つ、待ちの体制でいる」「何か教えずにはと気負わず、ただ寄り添うことが子どもたちの心を開く」と伝えられるとともに、学習支援も大事だが、まずは子どもたちにとって「家でも学校でもない第3の居場所」をつくることの必要性を教えてくださいました。日野さんの講演でも言われていましたが、単に勉強を教えるのではなく、変に構えずに自身の失敗体験や考えなどありのままを話しながら寄り添ってくれる、等身大の地域の大人が今、求められています。



↑柴田さん(写真上)と富永さん

「彦根市社会福祉大会」アンケート結果(回収枚数：132枚)

＜Q1：あなたについて教えてください＞

性 別	男		女		未記入	
	58名		61名		13名	
年 齢	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
	3名	2名	9名	13名	55名	45名
住 ま い	市内		市外		未記入	
	128名		2名		2名	
職 業	福祉・NPO	行政	教育	学生	一般	その他
	102名	1名	1名	1名	22名	14名

＜Q2：「子どもの貧困」という言葉をご存知でしたか？＞

A：言葉・内容ともに知っていた	67名
B：言葉は知っていた	47名
C：言葉・内容ともに知らなかった	14名
未記入	4名

＜Q3：基調講演およびディスカッションを聞いて、子どもたちのために何かしよう(したい)と思われましたか？＞

A：思った	92名
B：思わない	10名
未記入	30名

＜Q4：(Q3で「A：思った」回答者のみ)あなたと同じ地域の子どもたちに対して何か出来るとしたらどんなことがありますか？(複数回答可)＞

A：地域の子どもたちへのあいさつ	78名
B：学習支援等の会場提供	5名
C：学習支援等への参加	26名
D：その他	13名
E：分からない	9名
未記入	25名
「D：その他」の内容(一部抜粋)	
○子どもたちとの交流	○体験学習時の支援
○子どもの見守り・しつけ	○話し相手
など	

＜Q5：(Q3、Q4回答者のみ)今後、ご協力をお願いする際に連絡することは可能ですか？可能な方は名前、連絡方法を教えてください(複数回答可)＞

名前	18名
A：電話	21名
B：FAX	11名
C：メール	11名
D：その他	2名

＜Q6：今大会の内容について、ご感想やご意見、ご提案等ございましたら教えてください＞

内容(一部抜粋)
○少子高齢化の中で6人に1人が貧困家庭ということに心が痛みました。
○彦根に住む大人として、地域の子どもの関わりを続けて行きたいと改めて感じた。
○何もできないかもしれないという楽な気持ちで社会人は参加してもよいとの話なら、できれば何か力になればと思いました。

平成26年度 彦根市社会福祉大会 —開催報告—

昨年(平成26年)の11月24日(月・祝)に、ビバシティ2階にあるビバシティホールにて「平成26年度彦根市社会福祉大会」を開催しました。

第1部では長年、彦根市の地域福祉の向上にご尽力いただいた個人および団体、企業の方々への表彰状および感謝状の贈呈式、第2部では「子どもの貧困」をテーマとした基調講演、第3部では「子どもの貧困」を解消するために、市内で学習支援に取り組まれているの方々によるパネルディスカッションを行いました。

表彰状・感謝状の受賞者はご覧の方々です。
みなさまありがとうございました!



←圓城会長(写真左)より感謝の気持ちを込めて、表彰状をお渡ししました
=ビバシティホールにて

表彰状	個人	たけい みちこ 竹井美智子	こもり すみえ 小森寿美江	にしむら ちえこ 西村智栄子	感謝状	個人	こ き そ (故)木曾 義忠	さわ け いちろう 澤家一同	まえ だ いちろう 前田 一郎
		たなか あさこ 田中 朝子	いとう よしこ 伊藤 芳子	なかむら すみこ 中村 澄子			かぶしきがいしゃ ふ た ば や 株式会社フタバヤ	しょうわ でんこう ゆ に お ん ひこね し ぶ 昭和電工ユニオン彦根支部	
表彰状	個人	さとう ゆうこ 佐藤 裕子	なか え すずむ 中江 隆	いわさき み さ こ 岩崎美紗子	感謝状	団体・企業	ひこね しょうこうかい ぎ しょう 彦根商工会議所	しょうわ でんこうかぶしきがいしゃひこね じ ぎょうしょう 昭和電工株式会社彦根事業所	
		まさき よしお 正木 芳男	あさの せいぞう 浅野 征三	はしやま てるこ 橋山 照子			ひこね さんそうかいだいいょう 彦根山草会代表	わたなべ てるよ 渡邊 輝世	
表彰状	個人	くさ か あきこ 日下 明子	わたなべ まみ 渡邊 麻美				えふえむ こ み ゆ に て い ほうそうかぶしきがいしゃ エフエムひこねコミュニティ放送株式会社		
		ひだちょうぼらんてい あぐるーぶ 肥田町ボランティアグループ	ひだまり				お ば と ら O B A ★ T O R A		

(順不同、敬称略)

第2部：基調講演「子どもたちの真実(リアル)」

第2部では「子どもの貧困」をテーマに、大津市および守山市にて子どもの学習支援・居場所づくり活動に先駆的に取り組まれてきた、学習支援ボランティア団体Atlas(アトラス)の代表である日野貴博さんに講演していただきました。

「子どもの学習支援」とは、経済的に困難な家庭の子どもたちに無料または低額で、学校教育外で取り組まれる非営利の学習・生活支援の場や活動のことをいいます。

貧困状態にある子どもたちは十分な教育が受けられず、結果、収入の高い仕事に就けないまま大人になり、そのまた子どもが貧困状態になるという連鎖を断つことが「子どもの学習支援」の目的で、こういった取り組みは全国的に広がりを見せています。



↑会場の様子=ビバシティホールにて

「完璧でない」大人こそ、子どもの良いモデルになる



↑講師の日野貴博さん

Atlasは「学習支援ボランティア団体」ですが、単に勉強を教えるだけの場所ではありません。経済的な問題だけでなく、人間不信や衛生面、問題行動など様々な課題を抱えた子どもたちが来ており、どんな子でもありのままにいられる「居場所」、得意な部分を発揮できる「活躍の場所」、そして大学生や社会人ボランティアとの関わりや体験を通した「学びの場所」となっています。

この場に来て、まず大人に話を聞いてもらうことが、ゆっくりと、しかし着実に子どもたちの変化・成長につながってきました。「勉強を教える」のではなく、困った時に「あの人がいる」と思える大人が近くにいることを、子どもたちは望んでいます。

開催しました

ふくしフェア

～見て・聞いて・やってみよう!!～



昨年の11月30日(日)、開出今町にある彦根市中老人福祉センターで、市内で活動する福祉団体やボランティアグループ、事業所のことを広く知ってもらうため「ふくしフェア」を開催しました！

団体紹介の展示や体験コーナーにステージ発表、もぎ店や「ふくし〇×クイズ」などを行いました。好天にも恵まれて大盛況(^^)

ご来場者いただいた方々から

「はじめて市社協のイベントに来たけど、よかった！」

「参加団体が発表された歌にとっても感動した！」などなど、好評をいただくことができ、とても素敵な1日となりました\(^o^)/

ご来場くださったみなさま、ならびに参加いただいた関係者のみなさま、誠にありがとうございました。



お知らせ

小児難病救済基金

かつて難病と闘った「ともや君」に寄せられた、市民のみなさんからの募金を原資とした「小児難病救済基金」

市内に在住する乳幼児および児童で、小児慢性特定疾患をはじめ医師が難治性と認めた疾患患者を対象に、その治療に係る医療費以外の費用（交通費など）の一部を助成するものです。

＜お問い合わせ先＞

彦根市社会福祉協議会 地域福祉課

(TEL: 22-2821 FAX: 22-2841まで)

リフレッシュ！車椅子

昨年の11月19日(水)、社会貢献活動の一環として、損害保険ジャパン日本興亜㈱が支援する自動車整備業代理店組織のA I Rオートクラブ滋賀支部の会員や同社社員の方々が、学校の体験学習や一時的に必要とする方などへの貸し出し用として本会が所有している車椅子数十台の清掃と点検を行っていただきました。

おかげさまで、これからますます活躍してくれることと思います。ありがとうございました！



—第5回—

創ろう！みんなの

「地域福祉活動計画」



第5回は「住民福祉こん談会」を通して作りあげる「住民福祉活動計画」の進捗状況（城北学区・佐和山学区）について紹介します。

間もなく完成！

「城北学区住民福祉活動計画」

城北学区では、15名のメンバーで計6回のこん談会と数回の部会・打ち合わせを開きながら、学区内の課題や今後必要と思われる取り組みを話し合い、計画原案を作りました。

学区の人口規模や現状の取り組み、地域性などを考え、目標のキーワードを「つながり」「健康・生きがい」「安心・安全」の3つとして、無理なく息の長い活動を目指しておられます。

今後は、この計画原案を「絵に描いた餅」にすることのないよう、さらに多くの方々と話し合い、具体的な取り組みにつなげていく予定です。

城北学区にお住いのみなさまにお知らせできる日が少しずつ近づいています。どうぞご期待ください！



▲こん談の様子＝北デイサービスセンターで（馬場町）

小さな「助け愛」から はじめよう

佐和山学区では、14名のメンバーと共に計6回のこん談会を開催し、優先的に取り組みたい福祉の課題と、佐和山学区版の「住民福祉活動計画」の原案の策定を進めていきました。

こん談会を重ねるうち、さまざまな「愛（『合い』や『会い』の意味を含む）」を大切にしたいと

いう想いをメンバー同士で確認できたことから、計画のテーマを「愛のあるまち佐和山くふれ愛 助け愛 つなぎ愛」としました。

中でも特に、近所の老夫婦世帯のゴミを代わりに出すとか、共働き世帯の子どもの面倒を見てあげるといった、ご近所同士の「小さな『助け愛』」を徐々に広げていきたいと考えています。

難しいことをするのではなく、住民の一人ひとりが、それぞれに出来る「ふれ愛」「助け愛」「つながり愛」を少しずつ、でも着実に進めて行くことが、「愛のあるまち佐和山」につながります。

こちら間もなく佐和山学区のみなさまにお届けできると思いますので、楽しみにしててください。



▲こん談の様子＝東地区公民館にて（大東町）

お知らせ 出会い ふれあい 支え合い

民生委員
児童委員
の活動

稲枝民児協

◎大好評 第5回4園なかよし会

10月30日に、当地区内4園（稲枝東幼稚園、みづほ、ふたば、ことぶき保育園）の年長組を対象とした4園の園児同士と民生・児童委員との交流を行いました。

各園から、園児と共に民生・児童委員も同行して稲枝地区体育館まで移動し、館内では、各園の先生指導のもと、自己紹介からはじまり、体操やゲーム等で園児たちと仲良く楽しい時間を過ごしました。



総参加人数115名（園児79名）

【本件担当】 松清健勇 TEL 43-6479

城陽民児協

◎今年も皆さんご参加下さい

毎年、子育て支援活動として「夏休み体験学習や、高齢者向け「ふれあいサロン」を開催しています。昨



年も多数の方々にご参加頂き、好評のうちに終わることができました。今年も皆様に喜んで頂けるような催しを企画中です。私たち民生委員・児童委員は地域の交流の輪を広げるお手伝いができればと願っております。

【本件担当】 寺村知子 TEL 25-1641

亀山民児協

◎心と心が『ふれあう』活動を目指して

大切にしたい「信頼」「つながり」「安心」。亀山学区では、未就園の乳幼児とその保護者を対象に『親子ふれあいの会』を年4回、そして、70歳以上で一人暮らしをされている方々を対象に『ふれあいの集い』を開催しています。

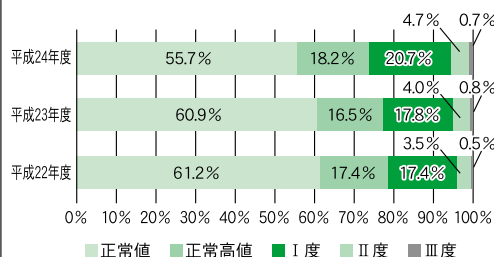
毎回、心待ちにされている方々が多く、素敵な笑顔があふれています。どうぞ、あなたもご参加ください。

【本件担当】 大方晃顕 TEL 28-1993



「親子ふれあいの会」
親子の絆を深め、親と親をつなぐ

図：特定健康診査の血压値



資料：彦根市国保特定健康診査結果

(単位mmHg)
正常血压
130/85未満
正常高値
130～139/85～89
I度(軽症高血圧)
140～159/90～99
II度
(中等症高血圧)
160～179/100～109
III度(重症高血圧)
180/110以上



目標！
野菜1日350g
摂りましょう！

ひこね元気計画21(第二次)
キャラクター まめこん

〈1食分の目安量〉



生野菜なら
両手一杯



ゆで野菜なら
片手一杯

制限があります）
（＊ただし、腎臓が悪い場合は摂取
摂りましょう。
をできるだけ短くしたりと工夫して
やすいので生で食べたり、加熱時間
かし、カリウムは加熱すると失われ
こ類などに多く含まれています。し
新鮮な野菜や果物、海藻類、きの
あるのが「カリウム」です。
ナトリウムを体外へ排泄する作用が
塩分に含まれるナトリウム。その
に注目！
塩分を排泄する栄養素、カリウム

○高血圧者の状況

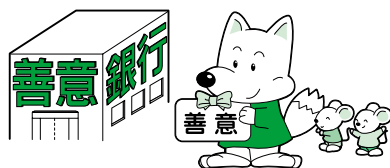
彦根市国保の特定健康診査の結果によると、高血圧者の状況は、平成22年度から平成24年度まで、年々、正常値の者の割合が低下する一方、正常高値と高血圧（軽症・重症）の人の割合が高くなっています。（左図参照）

保健師からのメッセージ 88 みんなの健康

今回のテーマ
野菜のチカラ☆
「食」から防ごう
高血圧！



○高血圧の予防、改善の要は食事です
濃い味付けや塩辛いものを好む人、野菜不足、外食等が多い人は、知らず知らずのうちに血圧を上昇させている可能性があります。それらに含まれる塩分の摂り過ぎが問題となります。
そこで・・・



金銭預託

(敬称略)

氏名または団体名	金額(円)
八坂町自治会	26,930円
四ツ門信夫	3,000円
辻堂町老人会	4,292円
直	10,000円
千歳会職員一同	19,749円
株式会社フタバヤ	289,535円
J A 東びわこ女性部	4,700円
彦根山草会 会長 渡邊輝世(彦根学園へ指定寄付)	30,000円
地域福祉ボランティアグループ地蔵	8,850円
デイサービスさくら	10,000円

物品預託

(敬称略)

氏名または団体名	品目
若林智加子	紙おむつ
匿名	座布団
田中ハツ	ポータブルトイレ
匿名 (2件)	お米
辻堂町老人会	靴下、サランラップ
匿名	紙おむつ
匿名	子ども用紙おむつ
匿名	紙おむつ、下着
山田恵梧	タオル、石鹸他
匿名	缶詰
尾本茂	衣類
株式会社ニシザキ	布団
J A 東びわこ女性部	お米、タオル
小椋直一	乾麺
匿名	砂糖他
匿名	缶詰、玄米
匿名	そうめん他
マルハン彦根店	お菓子

善意銀行からのお願い

- 古切手・ベルマークなど分別のご協力をお願いします。
 ○広報紙「社協ひこね」の点訳・音訳、また、預託者のお名前・社名等を公表するにあたり、下記のご協力ください。
 1) 公表することにご了承いただける場合は、お名前等をはっきり明記してください。
 2) お名前・社名等は必ず『フリガナ』の記入をお願いします。
 一特に意思表示のない場合は、掲載させていただきます。

あたたかい思いやり ありがとうございました。

お問い合わせ先 ▶彦根市社会福祉協議会 彦根善意銀行 ☎22-2821

平成26年11月1日~12月26日

〈古切手、使用済みテレホンカード〉 (敬称略)

△レントリー滋賀㈱ △彦根市ふたばデイサービスセンター △彦根市上下水道業務課 △清水工業㈱ △彦根市身体障害者更生会 △彦根市精神障害者家族会“集まろう会” △彦根市まちづくり推進室 △西澤悦子 △後三条シニアクラブ寿楽会 △南光田産業 △南シナプス △大倉 △せい医院 △上後三条町芹流会 △要約筆記サークルキャロット △東山保育園 △彦根市障害福祉課 △辻堂町老人会 △川瀬馬場町駅地区老人会 △小川和代 △彦根幼稚園池州分園 △古沢鶴寿会 △彦根市生活環境課 △彦根市立病院訪問看護ステーション △彦根市社会福祉課 △高宮和楽会女性部 △八月十六 △彦根市シルバー人材センター △㈱ワールドプラン彦根営業所 △亀山保育園 △ミタニダンススタジオ △徳田商事 △杉本工業㈱ △彦根市保健体育課 △立岩千代子 △芹谷地域振興事務所 △彦根市健康推進課 △彦根市赤十字奉仕団 △㈱高木造園 △デイサービスさくら △NPOぽぽハウス △樋口静香 △情報政策課広報係 △彦根市人権福祉交流会館 △(公社)自強術普及会彦根教室 △匿名 (10件)

〈ベルマーク・ロータスクーポン〉 (敬称略)

△レントリー滋賀㈱ △清水工業㈱ △小椋直一 △西澤悦子 △後三条シニアクラブ寿楽会 △せい医院 △上後三条町芹流会 △辻堂町老人会 △川瀬馬場町駅地区老人会 △小川和代 △要約筆記サークルキャロット △浅井久之 △亀山保育園 △徳田商事 △木下恵美子 △樋口静香 △小川利一 △匿名 (6件)

- 物品の寄付につきましては、衣類、くつ下、タオルなどの未使用品、家具、福祉用具などは今後も活用できる物をよろしくお願いします。

◆南老人福祉センターからのお知らせ◆

※市内在住で60歳以上の方が対象です。

★趣味や仲間を増やし、生きがいのある人生を送りましょう★

南老人福祉センターでは、自主クラブの活動や講座等を開講しています。参加ご希望の方は下記へお問い合わせ下さい。

【クラブ活動】

ク ラ ブ 名			活 動 日	時間帯	ク ラ ブ 名			活 動 日	時間帯
大 正 琴	な	か	ま	毎月第1・3月曜日	午前	健康	ニユーメダカ会	毎月第2・4月曜日	午前
	い	な	ほ	毎月第1・3木曜日	午前	体	さわやかクラブ	毎週木曜日	午後
	ち	ど	り	毎月第2・4月曜日	午後	操	にこにこクラブ	毎週月曜日	午後
	み	ず	す	毎月第2・4金曜日	午前		自主リハビリグループ「たけのこ」	毎週火曜日	午後
	す	ず	ら	毎月第2・4木曜日	午前		太極拳なでしこ	毎月第2水曜日	午前
パソコンクラブ			毎月第1・3水曜日	午後	ハーモニカこすもす			毎月第1・3火曜日	午前
			毎月第2・4木曜日		カロムことぶき			毎週火曜日	午前
手芸クラブなかよし			毎月第2水曜日	午後					

【お楽しみ映画会】

※上映作品は前月のお楽しみ映画会にてお知らせしています。

開 催 日	開 始 時 刻	備 考
毎 月 第 3 水 曜 日	1回目：午前9時30分～ 2回目：午後1時30分～	申込み不要・無料

【平成27年度 開催予定講座等】

- ・絵手紙講座 ・切り絵講座 ・手芸講座 ・シニア元氣塾 ・お楽しみ映画会 ・寄せ植え講座
 ・アレンジフラワー講座 ・カロム大会 ・発表会 ・作品展 ・歌の広場(NEW)
 ・いなえ歴史探訪ウォーク(NEW) ※行事予定・開講講座等は予定です。変更になる場合がございますのでご了承ください。

【お問い合わせ先】

彦根市南老人福祉センター 〒521-1105 彦根市田原町13-2 TEL：43-6700 FAX：43-6711

高齢者・障がい者

なんでも相談会

in 湖東地域(彦根市・愛荘町・豊郷町・甲良町・多賀町)

生活するうえで困っていることや、将来に不安のある高齢・障がいのある方の相談を弁護士や司法書士、社会福祉士などの専門家が受けします。

また、そのご家族やご親戚の方、支援されている福祉関係者の方にも相談いただけますので、気軽にお越しください。

【第2回】

日時：平成27年3月1日(日)

13:30~16:30 ※受付は16:00まで

会場：彦根市障害者福祉センター(彦根市平田町594)

会場周辺図



問い合わせ先・事務局：彦根市社会福祉協議会

TEL：0749-22-2821 FAX：0749-22-2841

あらゆる悩みや困りごと…
ひとりで抱え込まず
お気軽にご相談ください

心配ごと相談

毎週水・金曜日 13:00~16:00

場所：彦根市福祉センター別館2階相談室

★予約不要・相談無料 ★祝日の場合はお休みです。

問合せ：彦根市社会福祉協議会 TEL22-2821 FAX22-2841

貸衣装ニュース!!

- ・単品貸出OK!
- ・市外の方OK!

○平成28年成人式振袖予約受付中!

○卒業式用女袴予約受付中!

貸衣装 利用料金表 (税込)		
女性	留袖	5,000~25,000円
	訪問着・附下	13,000~18,000円
	振袖	30,000~35,000円
	袴	5,000円
	喪服・ブラックフォーマル	5,000円
男性	洋服(慶弔用)	1,000~8,000円
	紋服	6,000~8,000円
	モーニング	4,000~8,000円
	略礼服	3,000円
子ども	祝着	3,000~5,000円
	七五三	5,000~7,000円
	男児スーツ	2,000~2,500円
	女児ドレス・スーツ	2,000~2,500円

※詳細のお問い合わせは下記まで!

【場 所】彦根市福祉センター別館1階 貸衣装室(彦根市平田町670)

【営業時間】月~金曜日 8:30~17:15 (祝日は除く)

【お問い合わせ】彦根市社会福祉協議会 電話:22-2821代 FAX:22-2841

ホームページ <http://www.hikone-shakyo.or.jp>

この事業で得た収益は、彦根市社協が推進する地域福祉活動に広く活用しています。

大好評!

社協クイズ 136

問題

みなさんの善意をいただき、「つながりある
温かい福祉のまちづくり」を目指すために
作成した「善意銀行(善銀)〇〇〇〇」
さて、〇〇〇〇の中に入る言葉は何でしょう?

応募方法

はがきに、①クイズの答え、②住所、③氏名(フリガナ)、
④年齢、⑤電話番号、⑥今月号の感想やまちのほっと
な話題等をご記入のうえ、
平成27年2月27日(金)(当日消印有効)までに
〒522-0041 彦根市平田町 670
彦根市社協「社協ひこね」クイズ係
あてご応募ください。
抽選で5名様に「ふくしの店」からすてきな
プレゼントを差し上げます。

いつもたくさんのご応募ありがとうございます。
おしくも当選を逃された方、今回はがんばって!

前回(12月1日号)の答え

なんでも でした。

当選おめでとうございま〜す♪

浅野 成子さん しんは 榛葉由貴子さん 田中美代子さん
橋爪 翔子さん もろと 諸頭 誠博さん

読者のみなさんからご提供いただいた個人情報、当選
者へのプレゼント発送・ご質問に対する回答など、今後
の地域福祉活動の参考にさせていただきます。他の目的
には、使用いたしません。

☆あなたのまちの「ほっとな話題」をぜひ教えて
ください。身近な地域が取りあげられるチャンス!